

補助金評価シート

| | | | | | | | |
|-----------------------|---------------------|--|----------------------|------|-----------|----|------------|
| 区分 | 重点・ 重点以外 | 補助根拠 | 法令補助・ 他補助 | 開始時期 | 平成29年4月1日 | 終期 | 平成32年3月31日 |
| 補助事業名 [下段に制度概要を記載] | | 障がい者職場実習支援事業（チャレンジオフィス事業）奨励金 新潟市障がい者就業支援センターこあサポートが実施する障がい者の職場実習に要する経費に対し、奨励金を交付する。 | | | | | |
| 款・項・目 | | 民生費 障がい福祉費 障がい福祉費 | | | | | |
| 所属等 | | 福祉部 障がい福祉課 就労支援係 電話 025-226-1249（内線31249） | | | | | |

| 年 度 | | 平成29年度（1年目） | 平成30年度（2年目） | 令和元年度（3年目） |
|---------------|--|--|--|--|
| 予算額等の推移 | 予算(千円) | 4,318 | 1,559 | 1,000 |
| | 決算(千円) | 3,828 | 1,558 | 1,000 |
| 補 助 率 | | ①傷害保険料全額、②実習日当700円/人、③職場実習者受入企業につき1,000円/日・人 | ①傷害保険料全額、②実習日当700円/人、③職場実習者受入企業につき1,000円/日・人 | ①傷害保険料全額、②実習日当700円/人、③従業員100人以下の職場実習者受入企業につき1,000円/日・人 |
| 目 標 | | 民間実習：平成29年度：年間100名（延850日）平成30年度：年間100名（延874日） 平成31年度：年間110名（延1,100日） <目標が数値でない場合の評価方法> | | |
| 目標に対する達成度（指標） | 達成率100%以上 | 111.8% 延べ951日 | | 100.0% 延べ1,100日 |
| | 達成率 80%以上 | | 99.5% 延べ870日 | |
| | 達成率 50%以上 | | | |
| | 達成率 50%未満 | | | |
| | 目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください | | | |
| 補助事業者による情報の公表 | | ホームページ等 | | |

| | | | | | |
|--|------------------|---|---|-----------------------------|---|
| 評価欄 | チェック | a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか | ○ | e. 指標の推移が維持・向上しているか | ○ |
| | | b. 補助率は1/2以内か | × | f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか | ○ |
| | | c. 補助額が5万円以上になっているか | ○ | g. 目標は数値化されているか | ○ |
| | | d. 取入が過剰になっていないか（繰越金が生じていないか） | ○ | h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か | ○ |
| | ×になった項目に対する今後の取組 | <a～fにおける取組> 補助率は1/2以上ではあるが、障がい者雇用への理解と有効性に鑑み、同条件で継続していく必要がある。 <g～hにおける取組> | | | |
| | 目標未達成の原因分析 | <期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> | | | |
| ① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② <u>継続</u> ③ 廃止 | | | | | |
| ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること この支援事業により、障がい者の職場実習の機会は格段に増え、職場実習を終えてからの就職率も年々上がっている一方で、従業員100人以下の中小企業では、障がい者雇用への負担感を抱いており、雇用へはなかなか進まないのが現状。中小企業が依然として障がい者を雇用するための見極めとして重要な位置づけとなっているため、本事業を継続する。 | | | | | |